

# 市商連ニュース

令和6年8月1日 No.119

一般社団法人 川崎市商店街連合会

<https://k-shouren.jp/>

☎044-548-4107

## 川崎市議会との意見交換会の報告

7月11日(木)及び12日(金)に、川崎市議会の「自民党」「公明党」「みらい」の各会派の市議会議員と令和7年度に向けた川崎市への予算要望について意見交換を行いました。市商連から以下のとおり要望を出してきました。

- ・「プレミアムデジタル商品券」に代表される市の商店街支援策における市商連との連携について
- ・防犯カメラ等設置・維持の支援強化
- ・商店街の街路灯の補助制度拡充
- ・アーケード内街路灯広告の許可

などで、具体的には、今回市が発行したのデジタルプレミアム商品券について、商店街連合会との連携が不十分だった点、議員側からは委託業者選定委員に商連から選ばれていないのは問題などの意見が出されました。このほか経済労働局の部課名から商業の名前がなくなるなど市の商業振興に対するスタンスや職員の現場とのつき合い方の変化など、商業者が抱える不満について意見を交換しました。更には、商店街の会員数の減少についての現状や、補助金の交付条件、補助率など使い勝手についても意見交換をしました。市内商店街の厳しい状況についてご理解をいただきながら、議員側からも議会等を通じ、商店街における課題解決に向けて取り組んでいきたいとのご意見もいただきました。今後も市議会等の力を借りながら、商店街の活性化に向けて活動してまいります。



## 川崎市経済労働局との意見交換会

7月5日(金)と7月26日(金)に市経済労働局職員と市商連の各地区商連から推薦を受けた役員との間で、商店街振興策や商店街支援などについて意見交換を行いました。参加者からは、以前行っていた勉強・交流会を再開し、様々な商業振興

に関する情報の共有や、各商業者同士の意見交換の機会を増やすべきとの声、現在の市の補助金の交付条件や補助率など使い勝手の問題について意見が出されました。市内全域を対象にしたイベントを実施して需要喚起につなげるべきとの要望もあがりました。市経済労働局からは、来年度の予算編成に向け、意見のあった中で勉強・交流会の開催に対し支援するための予算要求をすとの回答がありました。まだまだ課題は山積していますので、今後も市との話し合いは続けていきます。なお、予算発表が行われる来年1月頃には、市の取組みの方向性が分かりますので、みなさんに御報告いたします

## 電気代をコストカットしたい事業者へ 川崎市が始める省エネ事業への参加募集



猛暑日が続く季節を迎えていますが、今年は燃料費の高騰と、国の電気代・ガス代負担軽減策の終了(8月から10月までの再開はあるが)により、光熱費の上昇は避けられない状況です。われわれ事業者にとっては厳しい状況ですが、今回川崎市が脱炭素戦略の一環として、使用電力の見える化&省エネサポートの取組に参加する企業の募集を始めました。設備ごとに使用料を計測し、電気の使い方を専門家から提案してもらえる内容です。商店でも、冷蔵庫、空調、照明など電気代に直接影響する設備については、できるだけ効率的に使用すれば経費節減につながります。詳しい情報は下記アドレスでご覧になれますので、ご確認ください。なお、申込期限は9月2日(月)です。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000167591.html>

問合せ 市環境局脱炭素戦略推進室

電話 044-200-2169